

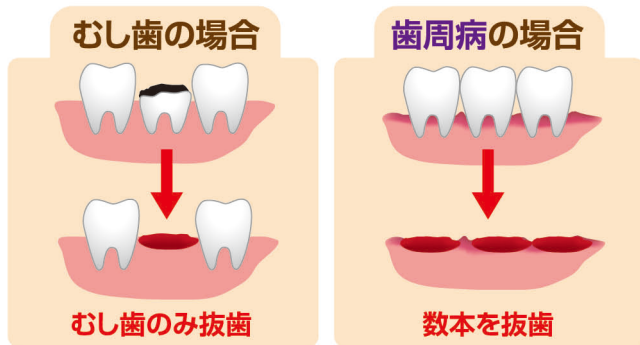
# 歯周病で歯を失わないために

歯周病とは歯槽骨(歯を支える骨)を溶かす病気です。歯周病が進行するにつれ図のように歯槽骨が溶けてきます。初期の段階では、自覚症状はほとんどありませんが、進行するにつれ歯ぐきから血が出る、膿が出る、口臭がひどくなる、歯がぐらぐらする、などの症状があらわれます。



## 重度の歯周病になると歯を一気に失ってしまう可能性が

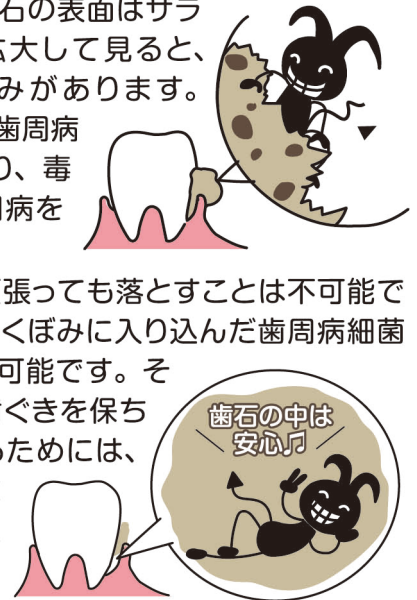
むし歯も歯を失う病気の代表的なものですが、歯を失うことに関しては歯周病の方が怖いといえます。むし歯の場合、むし歯がひどい歯だけ抜くこととなりますが、歯周病の場合、歯を支えている骨が下がってしまうため、歯を抜くことになる場合、数本同時に失うケースが多いのが特徴です。



## 定期的な歯石取りで歯周病予防

毎日歯磨きしていても歯石はついてしまいます。その歯石の表面はザラザラしており、拡大して見ると、無数の穴やくぼみがあります。この穴やくぼみが歯周病細菌の足場となり、毒素を出し続け歯周病を悪化させます。

歯石は歯磨きを頑張っても落とすことは不可能ですし、歯石表面のくぼみに入り込んだ歯周病細菌を落とすことも不可能です。それゆえ、健康な歯ぐきを保ち歯周病を予防するためには、ついた歯石をこまめに落としていく必要があります。



## 最近、乾いたものが食べにくくなった

## その症状ドライマウスかもしれません

ドライマウスとは口腔乾燥症とも呼ばれるもので、これそのものが病気ではありませんが、様々な原因でお口の中が乾いてしまうことを言います。お口の中が乾いてしまうと、ただ不快だけでなく、お口の中に様々な不具合をもたらします。

ドライマウスの原因として主なものは、加齢による唾液の分泌減少、薬の副作用、ストレスによる唾液分泌抑制、タバコ、アルコール、更年期障害、そして糖尿病、シェーグレン症候群のような全身疾患による影響などがあります。

次のような症状がある場合には、ご相談ください。

